

会 議 記 録		記録者	担当チーム
会 議 名	令和5年度未来の養父市を語るタウンミーティング		
期 日	令和5年6月20日（火曜日）午後7時30分～午後8時45分		
場 所	小佐コミュニティスポーツセンター		
出席者	校区民	25人（うち女性2人）、オンライン1人	
	市幹部	広瀬市長、山下副市長、米田教育長、圓山技監、羽瀨部長、細田部長、小井塚部長	
	特区政策課	安達課長、渡邊、雲田	
	担当チーム（市）	津崎課長、成田、珍坂、濱	
<p>（市民の発言、質疑応答）</p> <p>Q：80歳以上の高齢の方がたくさん田んぼ作っておられる中で、獣害被害が非常に多く。この（防護）網が破れたら私は農業やめるとか、そういった方ばかりの状況。（今後）農地を手放す方が増え、耕地が荒れていくと思う。今後の見通し、支援、施策の考えなどあれば、教えていただきたい。</p> <p>A：鳥獣害の対策より先に、将来どの耕作地を誰がどう守っていくかを決めながら守っていかねばならない。国も県も様々な支援を打っているのは、ひとえに農地を守りたい、守って欲しいから。地元の取りまとめは大変だが、まず地域計画づくりに協力してほしい。</p> <p>Q：空き家が増えており、時間がたつと荒れたり建物が傾いたりしてくる。今後そういうところが増え、跡地は更地になり草が生え鳥獣害も出る。行政が所有者との話し合いの間に入っただけでないか。</p> <p>A：空き家の悩みは市内全域から相談を受けている。まずは環境推進委員から持ち主の方に話をさせていただく。また、まち整備部では、昨年度から新規事業として、空き家対策について区単位、自治協単位で地域と市役所が一緒になって取り組む事業も作られており、相談されたい。また倒壊の危険があるところは特定空家の指定により、強制的に撤去ができる制度もある。</p> <p>Q：カーナビの案内の影響か、区内を他府県の車両が多数、スピードを出し通行し危険。何か対策がないか。</p> <p>A：カーナビの影響か集落の中を通る車は多い。速度制限の要望はできるがなかなか難しい現実がある。強制的には難しいが、地域から自主規制のお願い看板を立てたりするのも一案。また、交通量等の実態把握もしたほうがいい。宿題としたい。</p> <p>Q：営農組合で頑張っているが、先のことを考えると、農業機械を新規購入するのではなく、シェアできるようなシステムが考えられないか。システムと拠点場所。置く場所により利用しようとする大分走らねばならないということも出てくる。スマート農</p>			

業と言えは聞こえはよいが、実際はお金が無い農業である。

A：集落営農の機械導入に関しては、昨年度からスマート農業に関わる機械の購入補助を設け、比較的規模も小さく、レベル的にもそれほど高くないようなものも活用できるようにしている。今年度も1000万の予算を確保して、これから募集をさせていただく。昨年度も1500万、予算措置していたが、ほぼ活用いただいた。購入と併せ、エリア、集落間で使おうとしたときに、どういうことができるのかというようなことも一緒に考えさせていただきたい。

A：営農組合がよくやっていたていることは理解しているが、これからも農地を守るためには、地域計画についてしっかりと話し合ってもらいたいことが重要。担い手の推進や、集落間の連携、井堰を守るのも大変である。

Q：社会的処方、一人暮らし、認知症等に関する施策の説明がいただきたい。

A：今年度、健康福祉部を中心に社会的処方推進室という今部屋を設け、そこで、県との連携、市役所内においても、社会福祉、健康、芸術文化等も含め、具体的にこれらの方々をできるだけ孤立させない仕組みを作りましょうという取組を始めている。例えば高齢者夫婦や独居の方、また社会に馴染めない方など色々なパターンがあり、それぞれのパターン、タイプごとに、その繋ぎ役となるような人が必要ではないかと考えている。昨年から色々なセミナーや研修会をしながら、つなぎ役になる方、リンクワーカーという言い方をしていますが、そういう方々の養成しており、行政の保健師、職員もその立場になるほか、社会福祉団体の職員の方々なども中心に、研修を進めている。市役所で2人程度雇用もし、市役所に居るのではなく、地域に出てもらい、浸透させていきたい。また、健康に年をとるといようなことを一つのテーマに、医療機関と連携する形での研究室を設立したいと考えている。色々な切り口でもって、社会的処方の展開を図っていきたい。今のところは少し理想、理念的なお話をさせていただいている段階である。